

八乙女

地区 体育祭

刈り残す畦の野菊の吹かれおり

林 外吉



地元のよさを再発見

第一回いなみ発見ウォーキング大会

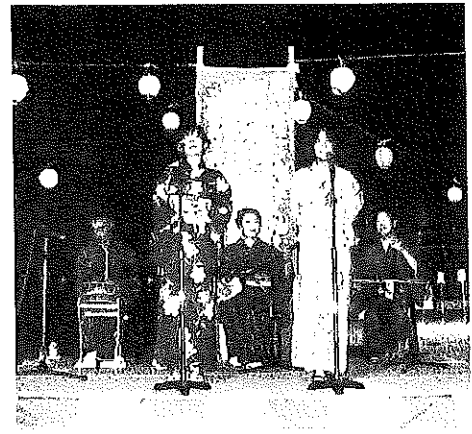
町内会長代表 富田利通

去る十月七日、汗ばむほどの秋晴れのもと、
「第一回いなみ発見 森林浴とウォーキング大会」を開催しました。

これまでは井波地域体育祭を実施していましたが、町村合併に伴い運営が困難になったこと、また少子高齢化が進み、競技種目の設定が難しくなったこと等から、子どもから高齢者まで気軽に参加できるウォーキング大会に内容を衣替えしたものです。木彫りの里近くの大門川河川公園を発着地点とした、林道赤祖父線を散策する不動滝コース（六キロ）と、連代寺から散居村を一望する矢於留コース（四キロ）の二コースに、井波の四地区から四七〇名余りの皆さんが参加くださいました。

参加者の中には、不動滝を初めて訪れ、その水のおいしさに満足された方や、連代寺村社の由来に驚き、またそこからの眺めのよさに感嘆された方が多く、私たち南山見地区民としては、地元のよさを味わい見直していただけたよい機会であったと嬉しく思いました。

ゴール後は、町内ごとにまとまって豚汁を味わう姿が見られ、その親睦も深まったようです。



八月十五日、公民館主催である二大行事のソフトバレー大会の熱気も覚めやらぬまま、終了と同時に各団体スタッフの協力で準備が行われ、第三十回の八乙女フェスティバルが盛大に開催されました。今年は何年にもない猛暑と晴天になり、行灯やちようちんの灯りに照らされる頃、

設置準備に一汗かいたせいか、準備も終り一段落のあと、泡のジュースが、うまい、と一言。行灯の周りには自然



八乙女フェスティバル

に踊りの輪が広がるころになると、各種団体の模擬店スタッフの威勢のいいかけ声が飛びかう中、長い行列が出る店もあり露店屋台の雰囲気も十分満喫できたと思います。今年も林姉妹一座の民謡ショーでは、情緒豊かな響きが夜空一杯に広がる中、最高潮になり、最後には打ち上げ花火が夜空に花咲いて、尚一層の全員感激の連続。恒例の抽選会には当たり番号の合わせに「当たった!!」「はずれた!!」の歓声が響いた。

フェスティバルを盛り上げるために協力して頂いた方々にお礼と夏の一夜の思い出を有難うございました。

(壮年部 前川 茂)

ソフトバレーボール大会



も落とすことなく勝ち上がりました。そして決勝では強豪の沖チームとフルセットの未見事優勝できました。お盆の忙しい中、試合に出たいただいた選手の皆さん、応援に駆けつけていただいた皆さん、本当に有難うございました。

当部落は戸数が少なく出て頂く方々にはご無理申しました。最後に今大会をより以上に成功運営していただいた皆様がたに心から感謝を申し上げます。

(清玄寺町内会長 沢田外志雄)

今年の夏も、35度を越す猛暑となり、大変暑い日が続きました。また今年は何年にもない大雨と富山県と接する地域が、大地震により大災害がありました。私たちの所では災害もなくソフトバレーボール大会を例年どおり無事行うことができました。

今年は十一チームによる三ブロックに分け、上位四チームによる決勝トーナメントになりました。最後までどのチームが決勝ブロックに残るかかわからず接戦の試合が多くなりました。その中で、清玄寺チームは、決勝戦まで、一セット



第24回 ビーチボール大会

第24回南山見地区ビーチボール大会が7月9日より3日間にわたって行われました。参加チームは、昨年より2チーム多い24チームです。暑い時季の開催ですが、体育館に賑やかな声が響き楽しい大会となりました。

優勝	沖Dチーム	次勝	里領Cチーム
成績	3位 沖Cチーム	敢闘賞	院瀬見第4チーム



地区体育祭



九月二十三日、第三〇回南山見地区体育祭が開催されました。今年七月頃から毎日三十度を越す猛暑が続き、前日も三十度前後の暑い日でしたが、体育会当日は祈りが？



通じたのか、さわやかな涼しいスポーツ日和となりました。節目の第三十回を、新公民館長の「地区住民の体力向上と健康の増進をはかり、相互の親睦を深めよう」との言葉で開催宣言され熱い熱い戦いがスタートしました。

どの組に於いても各競技の選手集めには大変な苦労がなされているのが各々の監督の顔を見ると手に取るようにわかるのです。我が黄組においても数日前から若い各役員達が智恵を出し合い選手を選出をして頂いた御陰で、一つの競技が終り、



ハチマキをはずす間もなく次の競技へとトラックに飛んで行く後姿に、ただただ熱い声援を!!

そして我が黄チームの競技が進行していくたびに一喜一憂し応援席から頑張れの声、小、中学生から、七、八十代の選手が共に汗し全力で躍動し、そしてついに優勝という素晴らしい成績を勝ち取る事ができました。

ましてや院瀬見赤チームの総合三位、見せ場の年代別リレー(自信有り)の優勝と、三枚も賞状が並ぶと院瀬見地区全体が盛り上がり最高の親睦会となり、感謝申し上げます。

南山見地区の伝統行事、そして最高の交流の場、「パンザイ」。節目の良き年に監督をさせていただき、ひとえにチームの皆様の応援、協力の賜物と感謝を申し上げます。

(五組監督 前川敬秋)

七月二十一日(土曜日)願いもむなく早朝より雨が降りやまず、折角老人クラブの皆様がグラウンドの草刈りを行なつてもらったにもかかわら



三世代交流 ラジオ体操の集い



てラジオ体操をしました。小さい子は、体いっばい使い、高学年の子達は前列に陣取って、率先して頑張っていた姿に今年も無事、いい夏休みを過ごしてもらいたいものだと思いました。

引き続き、その晩の教育懇談会の方では、四月から井波小学校に赴任されました作農啓一校長先生に講演依頼しましたところ、快くお引き受け下さり、「井波小学校の活動について」という演題にて様々な角度から子供の頑張っている様子をお話しになりました。

幸いにも今の学校においては、他の新聞等でにぎわすような悪質な犯罪などはないとのことですが、様々な情報や他県からの窃盗団、特にこれから高速道路が良くなり、交通の便が良くなると共に、そういった集団が増えるのではないかとこの様な報告も耳にしました。

そういう中で、我々保護者そしてこの地域に住んでいる皆様と共に、子供達を温かい目で見守って行きたいものだと思います。

(南山市民会議 前川明洋)
(南山見単位会議)

ず、体育館でのラジオ体操を実施する年となりました。雨天にもかかわらず多数の参加、体育館いっぱい皆さんが集まって、みんなの体操、そし

おめでとう
ございます



- 池田ふじえ (清玄寺)
- 松長フミ子 (連代寺)
- 池田みどり (志観寺)
- 藤井吉信 (戸板)
- 岩崎みよ (今里)
- 松井まつい (今里)
- 村松みどり (沖)
- 横江みゆき (南山見新)



平成19年度 体力づくりレクリエーション 西徳高～丸山トレッキング

平成19年8月26日(日)

箭原 健作



猛暑の続く八月最後の日曜日の二十六日、地域体力づくりに西徳高丸山トレッキングに参加。天候は山登りに絶好の晴天、穂高連峰の中腹にある新穂高ロープウェイに乗る。日本一の二階建ゴンドラとか鍋牛高原や千石園地ののどかな風景から笠ヶ岳、槍ヶ岳の勇姿をながめながら標高差約一、〇〇〇mを一気に昇る。

標高二、一五六mの山頂駅下車、周囲にコメツガやオオシラビソの樹林におおわれた登山道歩く。道はアツパダウンも激しく、だんだんと足

が前に出にくくなる。時々、木々の間から美しい山々を垣間見る眺め、疲れも癒されめざすは目的地へ。歩く事約一時間半、西穂山荘に着く。ここから丸山へ、丸山の手前、この繁る嶺線で一休み、穂高連峰はじめ、焼岳、眼下に上高地と三六〇度の大バノラマが広がる絶好のながめ、大自然の雄大さに感動する。時間の都合で、ここで「ハイポーズ」西穂山荘で昼食。下山途中、登って来た登山者より「皆さんこの山岳隊け」、「南山見コシヒカリ山岳隊やちゃ」、皆爆笑しながら、ロープウェイ山頂駅着、いま登って来た丸山方面を眺めながら下降。駅近くの温泉ホテルで露天風呂に、汗を流し帰路へ。バスの中はビンゴゲーム、「私—その景品ほしかったがや」「早よビンゴになられ、

わいわい、がやがや、参加者三十八名元気に公民館着。「南山見コシヒカリ山岳隊」の皆さん「またいつてこまいけ」。

体力づくりレクリエーションに参加して

山案内人 直江 裕二

南極の氷の塊が段々と小さくなっているとか、連日の猛暑日、何となく、納得するような猛暑であり、うんざりする日が続いている。

新穂高ロープウェイの西穂高口駅を降りると、そこは別天地。樹林帯から流れてくる風は、ひんやりと、おもわず深呼吸をしたくなる。暑いときは深山に限る。千石園地のミズバショウは1mほどにもなり、登山道にはアキノキリンソウが咲いていた。自然は確実に四季を感じて、尾根筋のタムシバは、早くも嫩しい冬を迎える準備に入り、来春に咲く花芽を綿毛に包み保護体制に入っているから素晴らしい。

登山道に入り38人の行列が続く。何人も自分の足だけが頼りの世界。日頃の自己管理がためされたり、改めてい



んな答えが出てくることもある。登山は過酷な場合もあり、厳しかったら厳しいほど、達成感があったり感動する場面があるから始末が悪い。

高瀬館長の挨拶の中に38名の登山方法は38種類があったのではないかと、正にズバリの名言に集約される。

集合写真の生き生きとした顔を拝見していると、気分転換になる。共に汗をかいた者だけが味わう一瞬だろうと思う。来年もこの笑顔を拝見できることを楽しみにしている。

* * *

はじめてにしほだかに行きました。ほくは、ロープウェイにのつたのが、一ばん楽しかったです。とくに下に下がるときに、ゆらゆらしたあと、

スピードが速くなっておもしろかったです。

けしきがとてもきれいでした。花がいっぱいさいいていました。またこんなきれいなところに、かぞくみんなで行きたいです。

二年 よこえ しょうた

* * *

ほくは穂高へ行って一ばんたのしかったことはロープウェイにのつてしらかば平駅から西穂高口駅までのぼったことです。ロープウェイに乗ったのは二回目できんちようしました。がけしきがきれいでした。山のちようじようにのぼってしたをみると、ながめがきれいでした。こんどおかさんとおとうさんでいきたいです。三年 山本 拓実



いなみ国際木彫刻キャンプ'07



4年に一度のいなみ国際木彫刻キャンプが、井波木彫りの里周辺で開催され、地区公民館のお誘いで参加見学させて頂きました。

現地見学会に参加して

高嶋 清典

八月二十二日(水)参加者三十名は午前十時過ぎ送迎マイクロバスで木彫りの里に到着、井波彫刻の高桑章さん(今里在住)の案内ガイド(解説)で、木彫刻作品の野外製作を生で見学することが出来ました。



開幕五日目ですが、各テントには直径一メートル前後の楠の大木から、チェンソーやチョウナで大胆にえくり取られた物や、ノミではつられて荒々しく削り取られた中にも、テント前に示された完成品イメージに次第に近づきつつある様子が窺われ、少しでも早く完成品を見たいものだと思

われました。中でも私が関心を持っていたのは、韓国の李康錫さんの「五つの大きな米粒を並べたような作品」でした。そして戸板に住まいの陶芸家金京徳・小橋真由美夫妻が

通訳として付き添って下さる姿を見て、微笑ましく感じました。

大門川河川公園の途中では、大きな鷺が羽を羽ばたかせながら、鋭い目と嘴で、捕らえた魚に今にも食いつきそうな表情の作品を製作中の方がいました。日本(和歌山県)の

城所啓二さんでした。ほとんどチェンソーで仕上げるという特技保持者とのことでした。また、カナダ出身のマイク・ダンジェリさんのテントでは、大きい丸太の荒削りの手を休めて、傍らでドラム(太鼓)に模様を書き込んでいた若い奥さんと二人で、このドラムを叩きながら現地の民謡を唄って私たちを歓迎してくる一幕もありました。私たちが作家の皆さんに「ハロー」と声を掛けると、「こんにちは」と、ぎこちな

キャンプで植樹

四年に一度の国際木彫刻キャンプが南砺市になって初めて開催されました。多くの見学者が訪れたこと、ボランティアの活躍が目に残った今年のキャンプだったと思います。最終日には、井波花と緑の少年団も木彫りの森づくり事業に参加し、招待作家らとともにケヤキやクスノキの苗木



の記念植樹を行いました。大きなイベントへの参加協力とともに自然の大切さや木のぬくもりを感じた一日でした。(井波花と緑の育成会長 才川昌二)



花だんづくり 行灯づくり



六月十日「南山見児童クラブ、井波花とみどりの少年団」で公民館前庭の花壇づくりを行いました。「花と緑の銀行」の方々の指導を受けながら、またきれいに咲いてくれるように期待を込めて丁寧に花植えを行いました。その後は行灯づくりです。初めて作る一年生も高学年のお友達に教えてもらい乍ら、それぞれ見事な出来栄です。菖蒲まつり、納涼祭で華やかさに一役買っていました。(事務局)



環境美化活動



六月十七日(日)、環境美化活動の一環として、南山見地区全戸に害虫駆除を目的とした薬剤散布を実施しました。成年部会員に協力をお願いしまして、朝八時より大勢の会員が集まってくれました。

当日は晴天に恵まれ、風もなく、担当区域を決め地区内の家屋及び施設の周辺の散布を行いました。

作業の遅れている地区への応援を行うなどして、予定していた時間よりも早く作業を終了する事ができました。また、各家々にも十分に散布できたと見えます。

これも南山見地区の皆さんの協力があってこそ、実施できたと思っております。

これからも、環境美化活動に協力し、継続していくように伝えていきたいと思っております。

(公民館成年部 箭原秀樹)

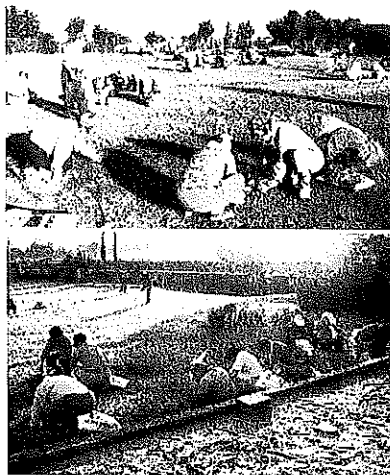
社会奉仕

七月十九日、九月二十日の二回にわたり、老人クラブで公民館周辺及びグラウンドの除草、清掃奉仕を行いました。

美化に努め地域を守っていききたいものです。ゲートボール部会のみなさんの除草剤散布に心から御礼申し上げます。協力をお願いします。

(老人クラブ 澤田武夫)

早朝の実施にもかかわらず、多くの皆様、また保育所の父母の会の皆様のご協力を戴きました。公民館、農村公園、保育所は当地区の各種団体の活動拠点となっております。地区体育祭等が予定されています。これからも各種団体が環境



平成19年度 なんとどの森植樹祭

十月六日(土)に「なんとどの森植樹祭」が南砺市利賀村



で開催され「井波花とみどりの少年団」からも参加致しました。「守り育てよう!とやまの森林」のスローガンのもと利賀瞑想の郷周辺にもみじ、かえで、あじさいの苗木をこころをこめて、ていねいに植樹致しました。大きく成長するのが楽しみです。

(事務局)

石川県津幡町より来館

七月十四日、津幡町中条公民館、審議委員の皆さん十五名が井波を訪問され、南山見公民館へ来館されました。意見交換の中で人口がどんどん増えて行く地域の悩みが話され、事業を進めていく上での苦勞が報告されました。改めて自分たちの地区を見直し、地域力のすばらしさに感動した一日でありました。



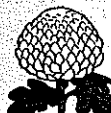
チャレンジャー in なんと

五月三十日(水)第三回「チャレンジャー in なんと」が行なわれました。南山見地区では朝六時二十分から公民館でラジオ体操が企画されました。天気もよく、太陽の光をからだいっぱい受け、さわやかに体操ができ、たいへんよかったです。チャレンジャーがきっかけとなって、健康づくりの為にそれぞれ自分にあつた運動を続けて行きたいものです。

(体育指導委員 高田多真美)

行事予定

- 11月18日(日) 第30回八乙女文化祭・農産物品評会
- 12月中旬 児童クラブクリスマス会 及び花だんづくり
- 20年 1月4日 南山見地区新年のつどい



編集後記

記録的な猛暑に見舞われ、熱中症になられた方々もあつちこつちに聞かれた夏も、ようやく十月になって少し秋めいて来たようです。と思うと、冬服が着たくなるような寒い朝があつたりと、とにかく不順です。また、今年のは山の実が豊作だと聞きました。しかし、新聞には呉東の方面で熊が出没しているようです。南砺の山々は? 出没のニュースはあまり聞きませんが、今年はどうでしょうか。

(S生)